

小児科学

著書

- 1) 山口清次: 代謝・内分泌疾患 1. 低血糖・代謝性アシドーシス. 市川光太郎編: 内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン, 診断と治療社, 東京, p286-292, 2007
- 2) Fukuda S, Pelus LM: Transmigration of CD34+ cells. Kevin D. Bunting (eds): Methods in molecular biology 430, Hematopoietic Stem Cell Protocols. Second Edition, The Humana Press Inc. NJ, p55-75, 2008
- 3) Fukuda S, Pelus LM: Role of Survivin in Adult Stem Cells and Cancer. Faraday AV, Dyer JT (eds): Stem Cell Applications in Diseases. Chapter 9, Nova Science Publishers, Inc. NY, p257-270, 2008
- 4) Sampath J, Fukuda S, Pelus LM: Oncogenic Proteins: Survivin Splice Variants: New Players in Cancer. Murphy PB, Clarke JR (eds): Structure, Function and Analyses. Chapter 5, Nova Science Publishers, Inc. NY, p139-159, 2008
- 5) 山口清次: 新生児マススクリーニング. 松尾理監, 鈴木康之編: よくわかる病態生理 15 小児疾患, 日本医事新報社, 東京, p32-36, 2008
- 6) 山口清次: 新生児黄疸. 松尾理監, 鈴木康之編: よくわかる病態生理 15 小児疾患, 日本医事新報社, 東京, p37-41, 2008

学術論文

- 1) Kobayashi H, Hasegawa Y, Endo M, Purevsuren J, Yamaguchi S: ESI-MS/MS study of acylcarnitine profiles in urine from patients with organic acidemias and fatty acid oxidation disorders. *Journal of Chromatography B* 855: 80-87, 2007
- 2) Kobayashi H, Hasegawa Y, Endo M, Purevsuren J, Yamaguchi S: A retrospective ESI-MS/MS analysis of newborn blood spots from 18 symptomatic patients with organic acid and fatty acid oxidation disorders diagnosed either in infancy or in childhood. *Journal of Inherited Metabolic Disease* 30: 606 (doi:10.1007/s10545-007-0642-7), 2007
- 3) Kanno J, Kure S, Narisawa A, Kamada F, Takayanagi M, Yamamoto K, Hoshino H, Goto T, Takahashi T, Haginoya K, Tsuchiya S, Baumeister FA, Hasegawa Y, Aoki Y, Yamaguchi S, Matsubara Y: Allelic and non-allelic heterogeneities in pyridoxine dependent seizures revealed by ALDH7A1 mutational analysis. *Molecular Genetics and Metabolism* 61: 384-389, 2007
- 4) Gobin-Limballe S, Djouadi F, Aubey F, Olpi S, Andresen BS, Yamaguchi S, Mandel H, Fukao T, Ruitter JPN, Wanders RJA, McAndrew R, Kim J, Bastin J: Genetic basis for correction of very long chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency by bezafibrate in patient fibroblasts: towards a genotype-based therapy. *American Journal of Human Genetics* 81: 1133-1143, 2007
- 5) Shimada A, Taketani T, Kikuchi A, Hanada R, Arakawa H, Kimura H, Chen Y, Hayashi Y: AML1 mutation and FLT3-internal tandem duplication in leukemia transformed from

- myelodysplastic syndrome. *Journal of Pediatric Hematology Oncology* 29: 666-667, 2007
- 6) Uematsu M, Sakamoto O, Sugawara N, Kumagai N, Morimoto T, Yamaguchi S, Hasegawa Y, Kobayashi H, Ihara K, Yoshino M, Watanabe Y, Inokuchi T, Yokoyama T, Kiwaki K, Nakamura K, Endo F, Tsuchiya S, Ohura T: Novel mutations in five Japanese patients with 3-methylcrotonyl-CoA carboxylase deficiency. *Journal of Human Genetics* 52: 1040-1043, 2007
 - 7) Horie A, Yotsumoto Y, Taketani T, Kumori K, Yamaguchi S: Anti-glomerular basement membrane antibody associated with human parvovirus B19 infection. *Shimane Journal of Medical Science* 24: 43-46, 2007
 - 8) Murata K, Kamei T, Toriumi Y, Kobayashi Y, Iwata K, Fukumoto K, Yoshioka M: Effect of processed rice with brown rice extracts on serum chlesterol level. *Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology* 34: S87-S89, 2007
 - 9) Watanabe K, Nishikimi T, Takamuro M, Yasuda K, Ishikawa Y, Tanabe S, Yamada O, Yagihara T, Suga S, Kangawa K, Matsuoka H, Echigo S: Possible role of adrenomedullin in the regulation of Fontan circulation: mature form of plasma adrenomedullin is extracted in the lung in patients with Fontan procedure. *Regulatory Peptides* 141(1-3): 129-134, 2007
 - 10) Zhang Y, Yang YL, Hasegawa Y, Yamaguchi S, Shi CY, song JQ, Sayami S, Liu P, Yan R, Dong JH, Qin J: Prenatal diagnosis of methylmalonic aciduria by analysis of organic acids and total homocysteine in amniotic fluid. *Chinese Medical Journal* 121(3): 216-219, 2007 (in Chinese)
 - 11) 虫本雄一, 金井理恵, 小林弘典, 竹谷 健, 安田謙二, 久守孝司, 葛西武司, 山本智彦, 丸山理留敬, 中川温子, 山口清次: 巨大な肝転移を伴った内分泌非活性型副腎皮質癌の12歳男児例. *小児がん* 43(4): 730-735, 2007
 - 12) 高橋あんず, 竹谷 健, 金井理恵, 山口清次, 勝部隆好: 突発性血小板減少性紫斑病を合併した自己免疫性肝炎の男児例. *日本小児科学会雑誌* 111: 1052-1055, 2007
 - 13) 八木麻理子, 起塚 庸, 西山敦史, 竹島泰弘, 江口純治, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次, 鈴木洋一, 松尾雅文: 保存新生児期ろ紙血でも異常が確認されたホロカルボキシラーゼ合成酵素欠損症の1乳児例. *日本小児科学会雑誌* 111(8): 1061-1065, 2007
 - 14) 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: 先天代謝異常症13例における新生児期ろ紙血を用いたタンデムマス分析による後方視的検討. *日本小児科学会雑誌* 111(9): 1155-1159, 2007
 - 15) 竹谷 健, 金井理恵, 山口清次, 佐々木佳裕: 潰瘍性大腸炎を合併しステロイドが奏功した原発性硬化性胆管炎の14歳男児例. *日本小児科学会雑誌* 111(10): 1293-1299, 2007
 - 16) 大日康史, 菅原民枝, 山口清次: タンデムマス法を用いた新生児マススクリーニングの費用対効果分析. *日本マス・スクリーニング学会誌* 17(3): 27-34, 2007
 - 17) 山口清次: 大きく変わろうとしている新生児マススクリーニング. *日本周産期・新生児医学会雑誌* 46(4): 802-805, 2007
 - 18) 菅原民枝, 大日康史, 多屋馨子, 及川 馨, 羽根田紀幸, 菊池 清, 加藤文英, 山口清次,

- 吉川哲史, 中野貴司, 庵原俊昭, 堤 裕幸, 浅野喜造, 神谷 齊, 岡部信彦: ムンプスワクチンの定期接種化の費用対効果分析. 感染症学雑誌 81(5): 555-561, 2007
- 19) 高田 彰, 石川 健, 松本 敦, 斉藤雅彦, 相馬洋紀, 千田勝一, 四本由郁, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: 多発嚢胞腎と心筋肥厚を伴い、妹でグルタル酸尿症 II 型と判明した新生児姉妹例. 日本小児腎臓病学会雑誌 20(2): 136-140, 2007
- 20) 小沢 浩, 久保田雅也, 市山高志, 山口清次: 日本脳炎ワクチン後、両側淡蒼球に嚢胞病変を認めたワクチン関連脳症の 1 女児例. 小児科臨床 60: 507-509, 2007
- 21) 安部真理子, 葛西武司, 竹谷 健, 久守孝司, 山口清次: 尿管ステント留置術後に発症した偽性低アルドステロン症 I 型の 7 カ月男児例. 小児科臨床 60(7): 1527-1531, 2007
- 22) 美根 潤, 内田由里, 竹谷 健, 葛西武司, 久守孝司, 山口清次: 壊死性腸炎を合併したアレルギー性紫斑病の女児例. 小児科臨床 60: 1610-1614, 2007
- 23) 四本由郁, 安田謙二, 山口清次, 高梨奉至, 高橋あんず: 新生児期に診断, 治療を行った Axenfeld-Rieger 症候群の 1 例. 小児科 48(11): 1483-1484, 2007
- 24) 山口清次: 新生児代謝異常マススクリーニング. 周産期医学 36 (増刊): 910-911, 2007
- 25) 藤脇建久, 山口清次: Delayed ion extraction matrix-assisted laser desorption ionization time-of-flight mass spectrometry (DE MALDI-TOF/MS) によるスフィンゴリピドーシス患者の脂質分析. JSBMS Letters 32(1): 7-11, 2007
- 26) 山口清次: 小児科: 小児期のケトン血症. 日本医事新報 4362: 111, 2007
- 27) 山口清次: 小児科疾患の最新知見 先天代謝異常と新生児スクリーニング: タンデムマススクリーニングで発症前に発見できる脂肪酸代謝異常. Pedi 16: 4-6, 2007
- 28) 竹谷 健: 小児気管支喘息のジレンマ - 有効な薬剤を使用しているのに、どうして治らないのか -. 島根医学検査 35(1): 1-5, 2007
- 29) 直良浩司, 西村信弘, 玉木宏樹, 岩本喜久生, 金井理恵, 山口清次: HPLC 法を用いた小児血液悪性腫瘍患者赤血球中 6-メルカプトプリンおよびその代謝物の定量. TDM 研究 24(4): 193-199, 2007
- 30) 山口清次: 新生児マススクリーニングの新しい動き: 乳幼児突然死の予防. 医報とやま 1431: 16-20, 2007
- 31) 山口清次: 乳幼児突然死症候群 (SIDS) の原因検索: 先天代謝異常スクリーニングの重要性. 法医病理 13: 25-32, 2007
- 32) 岸 和子: 周産期からの虐待予防の重要性 ~ 被虐待児の医療相談に関わった経験から ~. 島根母性衛生学会雑誌 10(1): 29-33, 2007
- 33) 岸 和子: 「子どものこころの診療」について - 島根大学医学部附属病院「子どものこころ診療部」開設に当たって -. しまねの精神保健福祉 36: 3-5, 2007
- 34) 岸 和子: 島根大学医学部附属病院「子どものこころ診療部」開設に当たって. 島根県小児科医会会報 20: 74-76, 2007
- 35) 岡野善行, 大浦敏博, 杉山成司, 田中葉子, 荘司 裕, 野口篤子, 藤脇建久, 小林弘典, 青木菊麿: ビオプテリン反応性高フェニルアラニン血症 5 症例の長期治療経過と成績のまとめ. 特殊ミルク情報 43: 17-21, 2007
- 36) 北川照男, 松田一郎, 多田啓也, 大浦敏明, 大和田操, 青木菊麿, 山口清次, 高柳正樹,

- 重松陽介, 大浦敏博: タンデムマススクリーニングで見つかった症例の治療例 平成 19 年度特殊ミルク改良開発部会 第一部会共同研究報告 有機酸代謝異常症・脂肪酸酸化酵素異常症の治療検討専門委員会報告. 特殊ミルク情報 43: 26, 2007
- 37) 坂本 修, 菅原典子, 植松 貢, 大浦敏博, 土屋 滋, 長谷川有紀, 小林弘典, 山口清次: タンデムマスを用いた新生児マス・スクリーニングで発見された 3-メチルクロトニル CoA カルボキシラーゼ欠損症 (メチルクロトニルグリシン尿症) の一例. 特殊ミルク情報 43: 27-29, 2007
- 38) 村田孝治, 鳥海善貴, 亀井 勉, 山口清次, 小林祥泰: 抹消血流速度を用いた脳血管疾患のリスク評価の可能性についての検討. 第 22 回健康医科学研究助成論文集 平成 17 年度: p109-117, 2007
- 39) 山口清次: わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, 2007
- 40) 松原洋一, 青木継稔, 大浦敏博, 大原 信, 奥山虎之, 栗山進一, 小林圭子, 坂本 修, 清水教一, 下澤伸行, 杉江秀夫, 鈴木康行, 田中あけみ, 辻 一郎, 福田冬季子, 山口清次: 稀少遺伝性疾患の追跡調査システム構築の検討. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p21-23, 2007
- 41) 加藤忠明, 顧 艶紅, 原田正平, 重松陽介, 山口清次: 新しい新生児マススクリーニングで発見される疾患に関する小児慢性特定疾患治療研究事業での登録状況. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p24-27, 2007
- 42) 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 内田由里, 高橋あんず, 山口清次: 島根大学で診断した有機酸・脂肪酸代謝異常の自然歴の検討. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p28-33, 2007
- 43) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: タンデムマスと培養線維芽細胞を用いた脂肪酸 酸化能の評価. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p39-42, 2007
- 44) 大浦敏博, 坂本 修, 島田美香, 斉藤郁磨, 名古屋裕子, 一條敦子, 針生敬子, 山本俊夫, 遠藤善宏, 秋山和夫, 白石廣行, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: 宮城県におけるタンデムマス質量分析計による新生児マススクリーニング - 2 年間のまとめ -. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p57-59, 2007

- 45) 福士 勝, 藤田晃三, 梅橋豊蔵, 山口清次: 新生児スクリーニング検査施設基準の検討 - 新生児スクリーニングの検査費用と検査施設規模 -. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p67-70, 2007
- 46) 大日康史, 菅原民枝, 山口清次: タンデムマス法を用いた新生児マススクリーニングの費用対効果分析. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p71-77, 2007
- 47) 谷原真一, 山口清次, 頼藤貴志: 多段階スクリーニング検査法の最適化に関する検討. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p78-82, 2007
- 48) 北川照男, 石毛信之, 鈴木 健, 原 淳, 穴澤 昭, 大和田操, 重松陽介, 山口清次: タンデム質量分析計による新生児マス・スクリーニング - 東京都におけるパイロット研究 第 3 報 -. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p92-98, 2007
- 49) 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 山口清次, 重松陽介: 島根大学におけるタンデムマスによる新生児マス・スクリーニング 2006 年の成績. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, p105-107, 2007
- 50) 山口清次: わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 16 ~ 18 年度総合研究報告書, 2007
- 51) 村田幸治, 鳥海善貴, 亀井 勉, 山口清次, 小林祥泰: 末梢血流速度を用いた脳血管疾患リスク評価の可能性について . 第 22 回健康医科学研究助成論文集 平成 17 年度 p109-117, 2007
- 52) Kawamura M, Kaku H, Taketani T, Taki T, Shimada A, Hayashi Y: Mutations of GATA1, FLT3, MLL-partial tandem duplication, NRAS, and RUNX1 genes are not found in a 7-year-old Down syndrome patient with acute myeloid leukemia (FAB-M2) having a good prognosis. *Cancer Genetics and Cytogenetics* 180(1): 74-78, 2008
- 53) Shimada A, Taki T, Tabuchi K, Taketani T, Hanada R, Tawa A, Tsuchida M, Horibe K, Tsukimoto I, Hayashi Y: Tandem duplications of MLL and FLT3 are correlated with poor prognoses in pediatric acute myeloid leukemia: a study of the Japanese childhood AML cooperative study group. *Pediatric Blood & Cancer* 50(2): 264-269, 2008
- 54) Pelus LM, Fukuda S: Chemokine-mobilized adult stem cells; defining a better hematopoietic

- graft. *Leukemia* 22(3): 466-473, 2008
- 55) Samuraki M, Komai K, Hasegawa Y, Kimura M, Yamaguchi S, Terada N, Yamada M: A successfully treated adult patient with L-2-hydroxyglutaric aciduria. *Neurology* 70: 1051-1052, 2008
 - 56) Yotsumoto Y, Hasegawa Y, Fukuda S, Kobayashi H, Endo M, Fukao T, Yamaguchi S: Clinical and molecular investigations of Japanese cases of glutaric acidemia type 2. *Molecular Genetics and Metabolism* 94: 61-67, 2008
 - 57) Nakagawa K, Kawana S, Yamaguchi S: Application of pentafluorobenzyl and hexafluoroisopropyl esters for retention indexes in GC-negative ion chemical ionization MS. *Chromatographia* 67(9/10): 731-740, 2008
 - 58) Kawana S, Nakagawa K, Hasegawa Y, Kobayashi H, Yamaguchi S: Improvement of sample throughput using fast gas chromatography mass-spectrometry for biochemical diagnosis of organic acid disorders. *Clinica Chimica Acta* 392(1-2): 34-40, 2008
 - 59) Horie A, Akimoto M, Tsumura H, Makishima M, Taketani T, Yamaguchi S, Honma Y: Induction of differentiation of myeloid leukemia cells in primary culture in response to lithocholic acid acetate, a bile acid derivative, and cooperative effects with another differentiation inducer, cotylenin A. *Leukemia Research* 32(7): 1112-1123, 2008
 - 60) Taketani T, Ito K, Mishima S, Kanai R, Uchiyama A, Hirata Y, Kumakura S, Ishikura H, Yamaguchi S: Neonatal isoimmune thrombocytopenia caused by type 1 CD36 deficiency having novel splicing isoforms of the CD36 gene. *European Journal of Hematology* 81(1): 70-74, 2008
 - 61) Fujiwaki T, Tasaka M, Yamaguchi S: Quantitative evaluation of sphingomyelin and glucosylceramide using matrix-assisted laser desorption ionization time-of-flight mass spectrometry with sphingosylphosphorylcholine as an internal standard Practical application to tissues from patients with Niemann-Pick disease types A and C, and Gaucher disease. *Journal of Chromatography B* 870: 170-176, 2008
 - 62) Purevsuren J, Hasegawa Y, Kobayashi H, Endo M, Yamaguchi S: Urinary organic metabolite screening of children with influenza-associated encephalopathy for inborn errors of metabolism using GC/MS. *Brain & Development* 30(8): 520-526, 2008
 - 63) Purevsuren J, Fukao T, Hasegawa Y, Fukuda S, Kobayashi H, Yamaguchi S: Study of deep intronic sequence exonization in a Japanese neonate with a mitochondrial trifunctional protein deficiency. *Molecular Genetics and Metabolism* 95(1-2): 46-51, 2008
 - 64) Taketani T, Taki T, Sako M, Ishii T, Yamaguchi S, Hayashi Y : MNX1-ETV6 fusion gene in an acute megakaryoblastic leukemia and expression of the MNX1 gene in leukemia and normal B cell lines. *Cancer Genetics and Cytogenetics* 186(2): 115-119, 2008
 - 65) Tajima G, Sakura N, Shirao K, Okada S, Tsumura M, Nishimura Y, Ono H, Hasegawa Y, Hata I, Naito E, Yamaguchi S, Shigematsu Y, Kobayashi M: Development of a new enzymatic diagnosis method for very-long-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency by detecting 2-hexadecenoyl-CoA production and its application in tandem mass spectrometry-based

- selective screening and newborn screening in Japan. *Pediatric Research* 64(6): 667-672, 2008
- 66) Yamaguchi S: Newborn screening in Japan: Restructuring for the new era. *Annals Academy of Medicine* 37(suppl 3): 13-17, 2008
- 67) Yasuda K, Hayashi G, Horie A, Taketani T, Yamaguchi S: Clinical and electrophysiological features of Japanese pediatric long QT syndrome patients with KCNQ1 mutations. *Pediatric International* 50(5): 611-614, 2008
- 68) Nguyen TH, Vu CD, Nguyen NK, Bui PT, Can TBN, Nguyen VT, Le TN, Ninh TU, Khu TKD, Nguyen TN, Yamaguchi S, Nguyen TL: Clinical presentation and treatment results of patients with inborn errors metabolism disorders 2005-2008. *Journal of Medical Research of Hanoi Medical University* 57(4)(supple): 50-56, 2008 (in Vietnamese)
- 69) 竹谷 健, 堀江昭好, 安田謙二, 伊藤孝史, 渡辺 浩, 山口清次: 多剤併用療法により改善がみられた腹膜透析併発真菌性腹膜炎の小児例. *日本小児科学会雑誌* 112(4): 724-728, 2008
- 70) 長谷川有紀, 遠藤 充, 小林弘典, 宇都宮 靖, 由井崇子, 山口清次: 尿中有機酸分析が早期診断に有用であったビタミン B1 欠乏症の 2 例. *日本小児科学会雑誌* 112(8): 1243-1248, 2008
- 71) 山田健治, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 白石英幸, 山口清次: ピボキシル基をもつセフェム系抗菌薬 11 日間投与後に 2 次性カルニチン欠乏症を来した 2 歳男児例. *日本小児科学会雑誌* 112(9): 1382-1385, 2008
- 72) 高橋あんず, 瀬島 斉, 吉岡誠一郎, 岸 和子, 高橋幸利, 山口清次: グルタミン酸受容体 2 (GluR 2) 抗体陽性を示したミオクロニー失立発作てんかんの男児例. *脳と発達* 40: 38-41, 2008
- 73) 虫本雄一, 小林弘典, 長谷川有紀, 中村 勇, 山口清次: 末梢リンパ球とタンデム質量分析を用いた日本人中鎖アシル CoA 脱水素酵素 (MCAD) 欠損症 3 例の脂肪酸 酸化能の検討. *日本マス・スクリーニング学会誌* 18(3): 250-255, 2008
- 74) 山口清次: 「タンデムマス」って何?. *小児保健研究* 67(1): 1, 2008
- 75) 竹谷 健, 林 丈二, 葛西武司, 金井理恵, 山口清次, 西村信弘, 土井教雄, 上村智哉, 直良浩司, 岩本喜久生: 小児インフルエンザに対する麻黄湯の有効性の検討. *チャイルドヘルス* 11(2): 114-118, 2008
- 76) 南 弘一, 神波信次, 田村 彰, 泉 鉉吉, 木岡直美, 吉川徳茂, 柳川敏彦, 小林弘典, 山口清次: 急性脳症で発症した全身性カルニチン欠損症の 1 例. *小児科臨床* 61(3): 449-452, 2008
- 77) 杉谷雄一郎, 竹谷 健, 安田謙二, 葛西武司, 内田由里, 吉川陽子, 山口清次, 飯塚節子: 2007 年夏に出雲地区で流行したエコーウイルス 30 型による無菌性髄膜炎の臨床的検討. *小児科臨床* 61(10): 1977-1982, 2008
- 78) 四本由郁, 長谷川有紀, 山口清次, 安達昌功: インフルエンザ脳症の発症を機に見えられたビタミン B₁₂ 反応型メチルマロン酸血症の 3 歳男児例. *小児科診療* 71(4): 726-729, 2008
- 79) 堀江昭好, 四本由郁, 竹谷 健, 久守孝司, 山口清次: ヒトパルボウイルス B19 感染に

- 伴い全身性エリテマトーデス様症状と糸球体腎炎を呈した女児例. 小児科診療 71(10): 1784-1787, 2008
- 80) 真々田容子, 村田敬寛, 谷口歩美, 長谷川有紀, 鈴木徹臣, 幸田恭子, 那須野聖人, 渡邊敏明, 山口清次, 石黒 精: 牛乳蛋白アレルギー児に発症したアミノ酸調整粉末哺育によるピオチン欠乏症. アレルギー 57(5): 552-557, 2008
- 81) 神田貴行, 堀向健太, 井上岳彦, 村上 潤, 小林弘典, 長谷川有紀, 林 篤, 山口清次, 神崎 晋: 間歇的な抗生物質投与との関連が疑われた低カルニチン血症の1例. 小児科診療 71(6): 1053-1056, 2008
- 82) 虫本雄一, 日衛嶋栄太郎, 米澤 環, 岡田雅行, 白石英幸: Diffuse neonatal hemangiomatosis を発症した1例. 小児科 49(9): 1171-1172, 2008
- 83) 杉谷雄一郎, 柴田直昭, 吉川陽子, 竹谷 健, 安田謙二, 岸 和子, 山口清次: 家族性脳海綿状血腫の母子例. 小児科 49(12): 1821-1822, 2008
- 84) 長谷川有紀, 山口清次: 代謝・内分泌疾患. レジデント 1(5): 82-87, 2008
- 85) 金井理恵: オーストラリアの小児緩和ケア事情. 緩和ケア 18(4): 345-347, 2008
- 86) 山口清次: 先天代謝異常マススクリーニング検査: 新しい動き. 産婦人科治療 96(増刊): 840-845, 2008
- 87) 長谷川有紀, 山口清次: 先天性代謝異常の出生前診断. 周産期医学 38(増刊): 161-164, 2008
- 88) 虫本雄一, 長谷川有紀, 山口清次, 田中主美, 倉内宏一郎, 山崎雄一: 原因不明の脳症と診断されていたグルタル酸血症1型の兄妹例. 特殊ミルク情報 44: 23-26, 2008
- 89) 山口清次: タンデムマス等の新技術を導入した新生児マススクリーニング体制に関する研究の進行状況について. 特殊ミルク情報 44: 37-42, 2008
- 90) 山口清次: タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成19年度総括・分担研究報告書, 2008
- 91) 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 山田健治, 虫本雄一, 山口清次: 有機酸・脂肪酸代謝異常の自然歴の検討. 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成19年度総括・分担研究報告書, p19-21, 2008
- 92) 虫本雄一, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: 島根大学で診断した中鎖アシル CoA 脱水素酵素(MCAD)欠損症の発症形態. 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成19年度総括・分担研究報告書, p22-24, 2008
- 93) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 虫本雄一, Li H, P. Jamiyan, 山口清次: グルタル酸血症2型の酸化能評価. 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成19年度総括・分担研究報告書, p28-31, 2008

- 94) 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 山口清次, 大浦敏博, 重松陽介: 島根大学におけるタンデムマスによる新生児マス・スクリーニング 2007 年の成績. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」(主任研究者 山口清次) 平成 19 年度総括・分担研究報告書, p94-95, 2008
- 95) 山口清次: 有機酸・脂肪酸代謝異常のスクリーニング、診断、治療評価、病因検索体制の確立. 平成 17～19 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 研究成果報告書, 2008
- 96) 四本由郁, 長谷川有紀, 福田誠司, 小林弘典, 遠藤 充, 深尾敏幸, 山口清次: 日本人グルタル酸血症 2 型患者 15 例の臨床像および分子学的検討. 平成 17～19 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B))「有機酸・脂肪酸代謝異常のスクリーニング、診断、治療評価、病因検索体制の確立」研究成果報告書, p114-116, 2008
- 97) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 虫本雄一, Li H, P. Jamiyan, 山口清次: グルタル酸血症 2 型の線維芽細胞におけるアシルカルニチンプロファイルと臨床的重症度の関連性の検討. 平成 17～19 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B))「有機酸・脂肪酸代謝異常のスクリーニング、診断、治療評価、病因検索体制の確立」研究成果報告書, p117-121, 2008
- 98) 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 虫本雄一, プレブスレン ジャミヤン, 山口清次: アミノ酸血症および有機酸・脂肪酸代謝異常の日本とアジアの頻度の比較. 平成 17～19 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B))「有機酸・脂肪酸代謝異常のスクリーニング、診断、治療評価、病因検索体制の確立」研究成果報告書, p122-123, 2008
- 99) 山口清次, 長谷川有紀, 小林弘典, 重松陽介, 福士 勝, 鈴木 健, 田崎隆二: 新しい新生児・乳幼児マススクリーニング対象疾患の登録・追跡・解析・情報提供システムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 安全・安心な母子保健医療提供体制整備のための総合研究「子どもの病気に関する包括的データベース (難治性疾患に関する疫学研究データベース等を含む) の構築とその利用に関する研究」(主任研究者 原田正平) 平成 19 年度総括・分担研究報告書, p36-40, 2008
- 100) 山口清次: 新しい新生児・乳幼児マススクリーニング対象疾患の登録・追跡・解析・情報提供システムの構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (子ども家庭総合研究事業) 安全・安心な母子保健医療提供体制整備のための総合研究「子どもの病気に関する包括的データベース (難治性疾患に関する疫学研究データベース等を含む) の構築とその利用に関する研究」(主任研究者 原田正平) 平成 17～19 年度総合研究報告書, p48-56, 2008

学会発表

- 1) Yamaguchi S: Study on organic and fatty acid disorders in Shimane University. East China Metabolic Meeting. Shanghai, May 2007
- 2) Yamaguchi S: Newborn screening in Japan: Restructuring for the new era. 6th Asia-Pacific Regional Meeting International Society for Neonatal Screening (Plenary Lecture). Singapore, August 2007

- 3) Kobayashi H, Hasegawa Y, Endo M, Purevsuren J, Yamaguchi S: ESI-MS/MS study of acylcarnitine profiles in urine from patients with organic acidemias and fatty acid oxidation disorders. 6th Asia-Pacific Regional Meeting International Society for Neonatal Screening (Plenary Lecture). Singapore, August 2007
- 4) Kawana S, Nakagawa K, Hasegawa Y, Kobayashi H, Yamaguchi S: Trial simplification of sample pretreatment in organic acidemia diagnosis using GC/MS. 6th Asia-Pacific Regional Meeting International Society for Neonatal Screening (Plenary Lecture). Singapore, August 2007
- 5) Fukuda S, Singh P, Conway EM, Yamaguchi S, Pelus LM: Survivin Regulates Aberrant Proliferation of Hematopoietic Progenitor Cells with Self Renewal Capability and Development of Acute Leukemia Induced by Internal Tandem Duplication of Flt3. 49th Annual Meeting of American Society of Hematology. Atlanta, USA, December 2007
- 6) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: タンデムマスと培養線維芽細胞を用いた脂肪酸 酸化能の評価. 平成 18 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マス・スクリーニングのあり方に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2007 年 1 月
- 7) 福士 勝, 藤田晃三, 梅橋豊蔵, 山口清次: 新生児スクリーニング検査施設基準. 平成 18 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マス・スクリーニングのあり方に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2007 年 1 月
- 8) 谷原真一, 頼藤貴志, 山口清次: 多段階スクリーニング検査法の最適化に関する検討. 平成 18 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マス・スクリーニングのあり方に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2007 年 1 月
- 9) 北川照男, 石毛信之, 鈴木 健, 大和田操, 重松陽介, 山口清次: タンデム質量分析計による新生児マス・スクリーニング・東京都におけるパイロット研究 第 3 報. 平成 18 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マス・スクリーニングのあり方に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2007 年 1 月
- 10) 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 山口清次, 大浦敏博: 島根大学で行ったタンデムマススクリーニング試験研究・2006 年の結果. 平成 18 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「わが国の 21 世紀における新生児マス・スクリーニングのあり方に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2007 年 1 月
- 11) 山口清次: 日常診療の中の代謝疾患. 第 43 回北九州小児科医会 特別講演. 小倉, 2007 年 1 月
- 12) 山田健治, 内田由里, 葛西武司, 安田謙二, 山口清次, 高橋雄介, 久守孝司, 虫本雄一: 新生児期の呼吸困難症状を契機に発見された肺分画症の 1 例. 第 45 回山陰小児外科内科・周産期研究会. 松江, 2007 年 1 月
- 13) 岸 和子: 女性医師が働き続けるということ～子を持つ小児科医師として思うこと

- ～. 平成 18 年度島根県医師会男女共同参画フォーラムシンポジウム. 出雲, 2007 年 1 月 (1 月 27 日 中島雪夫)
- 14) プレブスレン・ジャミヤン, 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 沼田 修, 山口清次: ミトコンドリア三頭酵素欠損症の出生前診断の経験. 第 4 回中国四国出生前医学研究会. 高松, 2007 年 2 月
 - 15) 内田由里, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: インフルエンザ脳症急性期のカルニチン動態の検討. 厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業)「インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究」平成 18 年度第 3 回班会議. 東京, 2007 年 2 月
 - 16) 瀬島 斉, 岸 和子, 木村正彦, 山口清次当科で経験した欠神てんかんの臨床的検討 第 1 回日本てんかん学会中国・四国地方会. 岡山, 2007 年 2 月
 - 17) 山口清次: わが国の 21 世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究. 平成 18 年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業公開シンポジウム～安全な出産、健全な子育て～次世代をになう子どもたちの健やかな発育のために～. 東京, 2007 年 3 月
 - 18) 齋藤敦郎, 竹谷 健, 金井理恵, 葛西武司, 山口清次: 治療に難渋している原発性硬化性胆管炎を合併した潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 10 回中国地区小児免疫薬物療法研究会. 広島, 2007 年 3 月
 - 19) 山口清次: 新生児マススクリーニングの新しい動き: 乳幼児突然死の予防. 平成 18 年度第 2 回富山県医師会新生児死亡改善対策講習会 講演. 富山, 2007 年 3 月
 - 20) 中嶋滋記, 内田由里, 美根 潤, 吉岡誠一郎, 岸 和子, 竹谷 健, 葛西武司, 瀬島 斉, 山口清次: 軽微な発作症状のため発見が遅れた West 症候群の 2 例. 第 37 回中国・四国点頭てんかん研究会. 岡山, 2007 年 3 月
 - 21) 山口清次, 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, Jamiyan P, 内田由里: 培養細胞とタンデムマスを用いる 酸化能評価法の検討. 平成 18 年度医薬品医療機器総合機構「保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト」新規コンセプト「Thermolabile Phenotype of Polymorphic Variantion」の発見を基盤とした“熱不安定性フェノタイプ”のスクリーニング、診断法の確立と治療法の開発 第 3 回班会議. 徳島, 2007 年 3 月
 - 22) 高橋知男, 竹谷 健, 葛西武司, 山口清次, 木村正彦: 振戦を契機に発見されたエンテロウイルス 71 による無菌性髄膜炎の一例. 第 79 回山陰小児科学会. 松江, 2007 年 4 月
 - 23) 齋藤敦郎, 竹谷 健, 葛西武司, 山口清次, 吉原隆夫: Periodic Fever with Aphthous Pharyngitis Adenitis の 2 歳男児. 第 79 回山陰小児科学会. 松江, 2007 年 4 月
 - 24) 山口清次: わが国の新しい新生児マススクリーニングの体制作り. 第 110 回日本小児科学会 ワークショップ「30 年を迎えたわが国の新生児スクリーニングの評価と今後」. 京都, 2007 年 4 月
 - 25) 内田由里, 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 高橋あんず, 岸 和子, 瀬島 斉, 山口清次: インフルエンザ脳症とそれ以外の急性脳症の代謝スクリーニング. 第 110 回日

本小児科学会学術集会. 京都, 2007 年 4 月

- 26) 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 山田健治, 山口清次, 南 弘一, 長崎啓祐, 大浦敏博: 尿中アシルカルニチン分析を用いたカルニチン欠乏症の鑑別診断の試み. 第 110 回日本小児科学会学術集会. 京都, 2007 年 4 月
- 27) 竹谷 健, 金井理恵, 山口清次, 林 丈二: 小児インフルエンザに対する麻黄湯の有効性の検討. 第 110 回日本小児科学会学術集会. 京都, 2007 年 4 月
- 28) 瀬島 斉: 非典型的な特発性部分てんかんの 3 例. 第 110 回日本小児科学会学術集会. 京都, 2007 年 4 月
- 29) 伊藤真理子, 小林弘典, 竹谷 健, 葛西武司, 岸 和子, 山口清次, 久守孝司, 増江道哉, 岡本博之, 大久保久美子: focal type 乳児持続性高インスリン血性低血糖症の PET による経時的評価. 第 110 回日本小児科学会学術集会. 京都, 2007 年 4 月
- 30) 内田由里, 瀬島 斉, 岸 和子, 葛西武司, 山口清次, 羽根田紀幸: 水痘および EB ウイルス感染を契機に発見された Paroxysmal tonic upgaze の乳児例. 第 6 回島根ヘルペス研究会. 出雲, 2007 年 4 月
- 31) 山口清次: 新生児マスキングの新しい動きとその臨床的意義. 第 35 回新潟小児内分泌談話会 講演. 新潟, 2007 年 6 月
- 32) 葛西武司, 斎藤敦郎, 岸 和子, 瀬島 斉, 山口清次: 重症新生児仮死後、脳波上 suppression-burst から hypersyria への変容を示した乳児てんかん性脳症の女児例. 第 21 回島根てんかん研究会. 出雲, 2007 年 6 月
- 33) 高橋知男, 吉川陽子, 小林弘典, 葛西武司, 岸 和子, 山口清次: 末端肥大を契機に診断した肥大性皮膚骨膜炎の 1 例. 第 87 回小児科学会島根地方会. 出雲, 2007 年 6 月
- 34) 樋口 強, 竹谷 健, 葛西武司, 山口清次, 加藤洋平, 木村光宏, 川内秀之: 急性耳鼻炎に引き続いて顔面神経麻痺を発症した幼児 2 例. 第 87 回小児科学会島根地方会. 出雲, 2007 年 6 月
- 35) 安部真理子, 吉川陽子, 竹谷 健, 堀江昭好, 葛西武司, 山口清次, 小西恵理, 高木潤二, 阿部 淳: Yersinia pseudotuberculosis 感染が原因と考えられた急性腎不全の 7 歳女児例. 第 42 回日本小児腎臓病学会学術集会. 横浜, 2007 年 6 月
- 36) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: タンデムマスによる新生児マスキングの意義について: 島根大学の 2 年間のパイロットスタディ -. 第 16 回中国四国小児保健学会. 山口, 2007 年 6 月
- 37) 山口清次: 大きく変わろうとしているわが国の新生児スクリーニング. 平成 19 年度岐阜大学小児科同門会 (友朋会) 教育講演. 岐阜, 2007 年 7 月
- 38) 南 憲明, 安田謙二: トレッドミル負荷試験における解析機能付き多機能心電計「レーダ - サ - ク^R」を用いた QT 時間自動解析の有用性について. 第 43 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 東京, 2007 年 7 月
- 39) 瀬島 斉, 岸 和子, 山口清次: 発達障害をもつ学童の診療と支援 - 小児科医としての役割と展望 -. 第 49 回日本小児神経学会総会. 大阪, 2007 年 7 月
- 40) 竹谷 健, 美根 潤, 斎藤敦郎, 葛西武司, 山口清次, 森田栄伸: 教育発達遅滞・低アルブミン血症・電解質異常を示したアトピー - 性皮膚炎乳児の 3 例. 第 31 回日本小児皮

膚科学会学術大会. 福岡, 2007 年 7 月

- 41) 安部真理子, 竹谷 健, 葛西武司, 山口清次: 入院管理下で症状を再現できなかった食物依存性運動誘発アナフィラキシ - の学童児例. 第 31 回日本小児皮膚科学会学術大会. 福岡, 2007 年 7 月
- 42) 山口清次: 大きく変わろうとしている新生児マス・スクリーニング. 第 43 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 東京, 2007 年 7 月
- 43) 山口清次: 小児科開講 30 周年を迎えて. 島根大学小児科同門会 (里仁会) 記念講演. 玉造, 2007 年 7 月
- 44) 柴田直昭, 内田由里, 岸 和子, 瀬島 斉, 山口清次, 江田伊勢松: anticipation を認めた脊髄小脳変性症の一幼児例. 第 18 回日本小児神経学会中国・四国地方会. 岡山, 2007 年 7 月
- 45) 小林弘典: 成長障害をきたす子どもの病気～成長曲線は語る～. 益田地区子ども健康フォーラム 講演. 益田, 2007 年 7 月
- 46) 瀬島 斉: 小児の感染症と神経合併症～水痘・ムンプス・麻疹の予防～. 益田地区子ども健康フォーラム 講演. 益田, 2007 年 7 月
- 47) 山口清次: 小児救急の場で注意すべき代謝性疾患とその対応. 第 2 回小児救急医療ワークショップ in 北九州. 福岡, 2007 年 7 月
- 48) 瀬島 斉: 発達障害のなかみ. こころとからだを育むサマ - セミナ - in ひかわ. 斐川町, 2007 年 8 月
- 49) 山口清次: これは便利! タンデムマス検査の使い方: 小児科診療での質量分析データのみかた. 第 3 回先天代謝異常セミナー. 東京, 2007 年 8 月
- 50) 山口清次: タンデムマス導入を機に進める新生児スクリーニング体制の立て直し. 第 34 回日本マス・スクリーニング学会 シンポジウム. 千葉, 2007 年 9 月
- 51) 遠藤 充, 小林弘典, P.ジャミヤン, 長谷川有紀, 山口清次: 脂肪酸代謝異常症スクリーニングの診断支援方法: 培養線維芽細胞とタンデムマスを用いた 酸化能評価. 第 34 回日本マス・スクリーニング学会. 千葉, 2007 年 9 月
- 52) 大浦敏博, 小林弘典, 島田美香, 斉藤郁磨, 名古屋裕子, 一條敦子, 針生敬子, 山本俊夫, 遠藤善宏, 秋山和夫, 白石廣行, 坂本 修, 長谷川有紀, 山口清次, 土屋 滋: 宮城県におけるタンデムマス質量分析計による新生児マススクリーニング. 第 34 回日本マス・スクリーニング学会. 千葉, 2007 年 9 月
- 53) 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 大浦敏博, 山口清次: 島根大学で行っているタンデムマスによる新生児マス・スクリーニング: 2 年間のまとめ. 第 34 回日本マス・スクリーニング学会. 千葉, 2007 年 9 月
- 54) 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 重松陽介, 大浦敏博, 福士 勝, 鈴木 健, 田崎隆二, 山口清次: タンデムマススクリーニングによる予後改善効果の検討: 発症後に診断された症例との比較. 第 34 回日本マス・スクリーニング学会. 千葉, 2007 年 9 月
- 55) 小林弘典, 内田由里, 長谷川有紀, 山口清次: インフルエンザ脳症発症時のカルニチン動態の検討. 厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究事業) 「インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究」

- (森島班) 平成 19 年度第一回班会議. 東京, 2007 年 9 月
- 56) 福田誠司: 造血悪性腫瘍に対する、分子標的治療開発のための研究: 白血病遺伝子による造血細胞の遊走異常. 鹿児島血液研究会 特別講演. 鹿児島, 2007 年 9 月
- 57) 瀬島 斉, 岸 和子, 山口清次: 発達障害を持つ学童への支援 - 医療現場での役割と展望 -. 第 54 回日本小児保健学会. 群馬, 2007 年 9 月
- 58) 南 憲明, 長谷川有紀, 小林弘典, 吉田正人, 山口清次: 安定同位体希釈法を用いた高感度 GC/MS 分析によるフルクト - ス-1,6-ジホスファタ - ゼ欠損症等の糖新生系異常の評価: [1,2,3-¹³C₃]-glycerol-3-phosphate の合成. 第 32 回日本医用マススペクトル学会年会. 京都, 2007 年 9 月
- 59) 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: グルタル酸血症 2 型の線維芽細胞におけるアシルカルニチンプロファイルと臨床的重症度の関連性の検討. 第 32 回日本医用マススペクトル学会年会. 京都, 2007 年 9 月
- 60) 小林弘典: ESI-MS/MS を用いたアシルカルニチン分析における診断精度の向上への工夫. 第 32 回日本医用マススペクトル学会年会 シンポジウム「新生児マススクリーニングにおける質量分析法の課題」. 京都, 2007 年 9 月
- 61) 堀江昭好, 竹谷 健, 葛西武司, 山口清次, 野村岳志, 越崎雅行, 庄野敦子, 鹿島 裕: 透析治療時の塩酸デクスメトミジンの小児使用例の検討. 第 29 回日本小児腎不全学会総会・学術集会. 松江, 2007 年 9 月
- 62) 柴田直昭, 内田由里, 岸 和子, 瀬島 斉, 葛西武司, 山口清次, 柿丸裕之, 内尾祐司, 木村正彦: 左上肢の麻痺を契機に発症した急性横断性脊髄炎の 7 歳男児例. 第 80 回山陰小児科学会. 米子, 2007 年 9 月
- 63) 樋口 強, 小林弘典, 葛西武司, 山口清次, 清村真道, 熊橋伸之, 内尾祐司: 大腿骨遠位骨端に生じた骨髄炎の 1 歳女児例. 第 80 回山陰小児科学会. 米子, 2007 年 9 月
- 64) 堀 友博, 深尾敏幸, 寺本貴英, 徳見哲司, 高柳正樹, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 安野哲彦, 山口清次, 近藤直実: Reye 様症候群で発症した CPTII 欠損症の 1 例. 第 43 回中部日本小児科学会. 名古屋, 2007 年 9 月
- 65) 栗野宏之, 八木麻理子, 起塚 庸, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次, 但馬 剛, 佐倉伸夫, 竹島泰弘, 松尾雅文: 幼児期に繰り返す嘔吐発作で発症したメチルマロン酸血症の姉妹例. 第 243 回日本小児科学会兵庫県地方会. 姫路, 2007 年 9 月
- 66) 福田誠司, Conway E, Crispino J, Pelus L: Survivin は正常造血幹細胞の増殖を制御する. 第 69 回日本血液学会 第 49 回日本臨床血液学会 合同総会. 横浜, 2007 年 10 月
- 67) 高橋知男, 内田由里, 葛西武司, 岸 和子, 瀬島 斉, 山口清次: 痙攣重積で発症し、頭部 MRI にて白質病変を来した HHV-6 急性脳症の 2 例. 第 59 回中国四国小児科学会. 高松, 2007 年 10 月
- 68) 虫本雄一, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: 島根大学で診断した中鎖アシル CoA 脱水素酵素 (MCAD) 欠損症の 5 例. 第 59 回中国四国小児科学会. 高松, 2007 年 10 月
- 69) 虫本雄一, 小林弘典, 樋口 強, 安田謙二, 山口清次: 低身長を契機に発見された萎縮性甲状腺炎の 1 例. 第 16 回中国四国小児内分泌懇話会. 高松, 2007 年 10 月

- 70) 山口清次: タンデムマスによる新生児スクリーニングのデータ解釈と臨床的意義. 平成 19 年度先天性代謝異常・内分泌疾患マス・スクリーニング基礎理論研修会. 東京, 2007 年 10 月
- 71) 山口清次: 日常小児科診療と代謝性疾患. 第 20 回北野小児科学術講演会. 大阪, 2007 年 10 月
- 72) 吉川陽子, 岸 和子, 山口清次, 稲垣卓司, 波多野玲奈, 大野貴子: 遊戯療法と家庭環境調整で改善した転換性障害の 1 例. 第 48 回日本児童青年精神医学会総会. 岩手, 2007 年 10 月
- 73) 倉内宏一郎, 山崎雄一, 田中主美, 山口清次, 虫本雄一, 長谷川有紀: 発達退行で発見されたグルタル酸尿症 I 型の兄妹例. 第 136 回日本小児科学会鹿児島地方会. 鹿児島, 2007 年 10 月
- 74) 中嶋滋記, 内田由里, 美根 潤, 岸 和子, 竹谷 健, 瀬島 斉, 山口清次: 発作症状が軽微だったため発見が遅れた West 症候群の 2 例. 第 41 回日本てんかん学会. 福岡, 2007 年 11 月
- 75) 虫本雄一, 小林弘典, 山口清次, 藤脇建久, 本間佳子: 成人身長まで観察した非古典式型 21 水酸化酵素欠損症の女子例. 第 41 回日本小児内分泌学会学術集会. 横浜, 2007 年 11 月
- 76) 山口清次: 脂肪酸代謝異常症の診断と治療のスタンダード. 第 49 回日本先天代謝異常学会 Plenary Lecutre. 山形, 2007 年 11 月
- 77) 虫本雄一, 長谷川有紀, 遠藤 充, 小林弘典, 山口清次: 質量分析を用いたマルチブルカルボキシラ - ゼ欠損症の出生前診断. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 78) 大浦敏博, 植松 貢, 坂本 修, 菅原典子, 熊谷直憲, 森本哲司, 長谷川有紀, 小林弘典, 山口清次, 土屋 滋: 3-メチルクロトニル CoA カルボキシラ - ゼ欠損症: 日本人 5 症例の分子遺伝学的解析. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 79) 藤田貴子, 米谷美奈子, 山口清次, 廣瀬伸一: ETF-脱水素酵素 (ETFDH) 異常によるグルタル酸尿症 型が疑われた症例での ETFDH の遺伝子解析. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 80) 栗野宏之, 八木麻理子, 起塚 庸, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次, 但馬 剛, 佐倉伸夫, 竹島泰弘, 松尾雅文: 幼児期に繰り返す嘔吐発作で発症したメチルマロン酸血症の姉妹例. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 81) 堀 友博, 深尾敏幸, 寺本貴英, 高柳正樹, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 安野哲彦, 山口清次, 近藤直実: Reye 様症候群で発症し初期のカルニチン投与が著効した CPT2 欠損症の 1 例. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 82) 山田健治, 長谷川有紀, 遠藤 充, 小林弘典, 山口清次: 成人期に発見された有機酸・脂肪酸代謝異常症の臨床的検討. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 83) 小林弘典, 長谷川有紀, 遠藤 充, 虫本雄一, 山田健治, 山口清次: 島根大学小児科で診断した脂肪酸代謝異常症 33 例の発症形態および予後に関する検討. 第 49 回日本

先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月

- 84) プレブスレン ジャミヤン, 福田誠司, 長谷川有紀, 小林弘典, 沼田 修, 深尾敏幸, 山口清次: Deep intronic sequences exonization in a baby with mitochondrial trifunctional protein deficiency. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 85) 福田誠司, 山口清次, ルイス ペレス: Potential utility of GRObeta mobilized hematopoietic stem cells for the treatment of genetic disease. 第 49 回日本先天代謝異常学会. 山形, 2007 年 11 月
- 86) 長谷川有紀: インフルエンザ脳症の実際 - その症状と対応 -. 大田市医師会特別講演会 講演. 大田, 2007 年 11 月
- 87) 山口清次, 遠藤 充, 虫本雄一, 四本由郁, 長谷川有紀, 小林弘典: タンデムマス新生児スクリーニングにおける新生児ガスリーパー紙の有用性: 後方視的検討. 第 52 回日本未熟児新生児学会. 高松, 2007 年 11 月
- 88) 柴田直昭, 四本由郁, 内田由里, 安田謙二, 山口清次: 最近経験した先天性内反足 5 症例の検討. 第 52 回日本未熟児新生児学会. 高松, 2007 年 11 月
- 89) 山口清次: アミノ酸代謝過程の異常に基づく有機酸血症の病態. アミノ酸セミナー - 「基礎と臨床を結ぶ会」 講演. 東京, 2007 年 11 月
- 90) 山口清次: 小児科診療における代謝性疾患の考え方: 最近の進歩. 第 447 回日本小児科学会福岡地方会例会 特別講演. 福岡, 2007 年 12 月
- 91) 森木省治, 谷口由紀, 佐藤恵美, 森山英彦, 柴田 宏, 長井 篤, 西村信弘, 稲垣文子, 磯部 威, 山口清次: 同一患者の尿と便から検出された ESBL 産生 Escherichia coli と Klebsiella pneumoniae の臨床微生物学的検討. 第 32 回山陰化学療法研究会. 米子, 2007 年 12 月
- 92) 吉川陽子, 杉谷雄一郎, 高橋知男, 安田謙二, 金井理恵, 岸 和子, 瀬島 斉, 山口清次, 小西恭子, 飛騨一利, 茂木洋晃: 先天性皮膚洞に合併した脊髄膿瘍の 10 ヶ月男児例. 第 88 回小児科学会島根地方会. 出雲, 2007 年 12 月
- 93) 柴田直昭, 四本由郁, 吉川陽子, 内田由里, 安田謙二, 山口清次, 高橋雄介, 久守孝司, 原田 崇, 真鍋 敦: nDPAP 管理を経て生後一ヶ月時に手術を行った肺先天性嚢胞性腺腫様奇形の男児例. 第 88 回小児科学会島根地方会. 出雲, 2007 年 12 月
- 94) 長谷川有紀, 小林弘典, 遠藤 充, 山田健治, 虫本雄一, 山口清次: 有機酸・脂肪酸代謝異常の自然歴の検討. 平成 19 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業) 「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2008 年 1 月
- 95) 虫本雄一, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: 島根大学で診断した中鎖アシル CoA 脱水素酵素(MCAD)欠損症の発症形態. 平成 19 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業) 「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2008 年 1 月
- 96) 福士 勝, 梅橋豊蔵, 山口清次: 検査施設のあり方に関する研究・検査施設における検体管理と精査・診断・治療状況の把握. 平成 19 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業) 「タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリー

- ニング体制の確立に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2008年1月
- 97) 戸松俊治, アドリアーナ モンターニョ, 小熊敏弘, 鈴木康之, 折居忠夫, 佐倉伸夫, 福士 勝, 山口清次: ムコ多糖症の新生児スクリーニング開発. 平成 19 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)「タンデムマス等の新技术を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究」研究班全体会議. 東京, 2008年1月
- 98) 山口清次, 長谷川有紀, 小林弘典, 重松陽介, 大浦敏博, 福士 勝, 鈴木 健, 田崎隆二: タンデムマスによる新生児マススクリーニング対象疾患の登録・追跡・解析システムの構築に関する研究. 平成 19 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)安全・安心な母子保健医療提供体制整備のための総合研究「子どもの病気に関する包括的データベース(難治性疾患に関する疫学研究データベース等を含む)の構築とその利用に関する研究」最終班会議. 東京, 2008年1月
- 99) 安田謙二, 堀江昭好, 瀬島 斉, 山口清次, 久守孝司: 高ガラクトース血症を契機に発見された肝門部門脈閉塞を伴う門脈体循環シャントの 1 例. 第 46 回山陰外科内科・周産期研究会. 米子, 2008年1月
- 100) 岸 和子: 子どもとメディアについて. 斐川町立出東小学校 PTA 研修会 講演. 斐川町, 2008年1月
- 101) 岸 和子: 子どもとメディア～あなたはその恐ろしさを知っていますか. 斐川町立西野小学校保健委員会研修会 講演. 斐川町, 2008年1月
- 102) 岸 和子: 「育児不安や虐待問題を抱える親への支援～子どものこころ診療部の現場から～」. 平成 19 年度児童虐待予防研修会. 出雲, 2008年1月
- 103) 西村信弘, 磯部威, 森木省治, 山口清次, 直良浩司, 岩本喜久生: 抗菌化学療法の適正化に向けた投与日数モニタリングおよび抗菌薬使用届出制導入の効果. 第 23 回日本環境感染学会総会. 長崎, 2008年2月
- 104) 四本由郁, 柴田直昭, 吉川陽子, 安田謙二, 山口清次, 高橋雄介, 久守孝司, 原田 崇, 宮崎康二: 出生前診断され, 新生児期に切除術を行った先天性肺嚢胞性腺腫瘍奇形の男児例. 第 5 回中国四国出生前医学研究会. 広島, 2008年2月
- 105) 太田桂子, 四本由郁: 当院における新生児退院支援の取り組み 養育支援を必要とする家庭に関する情報提供の現状と課題 . 第 12 回島根新生児研究会. 出雲, 2008年2月
- 106) 兒玉るみ, 三島清司, 陶山多美子, 吉野 功, 國司博行, 柴田 宏, 竹谷 健, 益田順一, 吉川陽子, 内田由里, 長谷川有紀, 金井理恵, 山口清次: 慢性 ITP の経過中に発見された巨大血小板を伴う血小板減少, 難聴を呈した Epstein 症候群 . 第 36 回島根血液凝固免疫症例検討会 . 出雲, 2008年2月
- 107) 柴田直昭, 内田由里, 吉川陽子, 岸 和子, 安田謙二, 瀬島 斉, 山口清次: 顔面ミオクロニー発作を部分発作と誤認されていたミオクロニー・失立発作てんかんの幼児例. 第 2 回日本てんかん学会中国四国地方会. 広島, 2008年2月
- 108) 金井理恵: オーストラリアの緩和ケアの現状. 小児(ホスピス)緩和ケアに関する研究会. 東京, 2008年2月

- 109) 虫本雄一, 小林弘典, 遠藤 充, 長谷川有紀, 山口清次: SIDS 様症状で発症する脂肪酸代謝異常症: 中鎖アシル CoA 脱水素酵素 (MCAD) 欠損症日本人症例の発症形態の検討. 第 14 回日本 SIDS 学会. 岐阜, 2008 年 3 月
- 110) 吉川陽子, 内田由里, 四本由郁, 安田謙二, 瀨島 斉, 山口清次, 斉藤敦郎, 葛西武司: ACTH 少量週一回長期投与が有効だった重症新生児仮死後の乳児てんかん性脳症の女兒例. 第 38 回中国・四国点頭てんかん研究会. 岡山, 2008 年 3 月
- 111) 瀨島 斉, 岸 和子, 山口清次: 当科で経験した West 症候群 13 例の臨床疫学的検討. 第 81 回山陰小児科学会. 松江, 2008 年 3 月
- 112) 竹谷 健, 熊倉俊一, 小林祥泰, 山口清次: WWAMI report : アメリカの医学教育, 地域医療, 小児医療の研修からみえたもの (特別報告). 第 81 回山陰小児科学会. 松江, 2008 年 3 月
- 113) 安部真理子, 竹谷 健, 安田謙二, 山口清次, 葛西武司, 根宜由実: 特発性縦隔気腫 10 例の臨床像の検討. 第 81 回山陰小児科学会. 松江, 2008 年 3 月
- 114) Yasuda K: Procalcitonin is a useful predictor for the responsiveness to first immunoglobulin treatment in Kawasaki disease. 9th International Kawasaki Disease Symposium. Taipei, April 2008
- 115) 森木省治, 西村信弘, 稲垣文字, 磯部 威, 山口清次, 柴田 宏, 長井 篤, 熊倉俊一, 小林祥泰: 島根大学医学部付属病院における感染制御情報システム導入の効果. 第 82 回日本感染症学会. 松江, 2008 年 4 月
- 116) 竹谷 健: EBV 感染後に致死的な血球貧食症候群をきたした X 連鎖リンパ増殖症候群の 1 家系. 第 82 回日本感染症学会総会. 松江, 2008 年 4 月
- 117) 長谷川有紀: 当病院における職員の水痘発症について 各症例の感染経路と院内感染対策の問題点 . 第 7 回島根ペルペス研究会. 出雲, 2008 年 4 月
- 118) 吉川陽子, 長谷川由紀, 遠藤 充, 山田健治, 小林弘典, 山口清次: 非典型的な発症形態を示した有機酸・脂肪酸代謝異常症例の検討. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月
- 119) 虫本雄一, 長谷川有紀, 遠藤 充, 小林弘典, 山口清次: ビオチン欠乏症による 2 次性マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 7 例の検討. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月
- 120) 福田誠司, サイプラティバ, 山口清次, ペラスルイス: Survivin は ITD-Flt3 陽性造血前駆細胞の異常自己複製と白血病の進展を制御する. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月
- 121) 李 紅, 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 福田誠司, 山口清次: Bezafibrate and heat stress alter the β -oxidation capacity in VLCAD deficiency. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月
- 122) 竹谷 健, 吉川陽子, 葛西武司, 安田謙二, 金井理恵, 山口清次: 小児におけるプロカルシトニンの臨床的意義. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月
- 123) 瀨島 斉, 岸 和子, 山口清次: 当科で経験した失神てんかん 13 例の臨床的検討. 第 111 回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008 年 4 月

- 124) 松原洋一, 福嶋義光, 小崎健次郎, 成澤邦明, 青木継稔, 山口清次, 奥山虎之, 呉 繁夫: わが国における稀少遺伝性疾患の遺伝子診断ネットワークの構築. 第111回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008年4月
- 125) 細川真一, 北島博之, 山田 穰, 最上友紀子, 山藤陽子, 里村憲一, 長谷川有紀, 山口清次, 藤村正哲: 透析により救命し, 遺伝子解析を行ったカルバミルリン酸合成酵素 (CPS1) 欠損症の1例. 第111回日本小児科学会学術集会. 東京, 2008年4月
- 126) 山口清次: 質量分析の新生児マススクリーニングへの応用: 第56回質量分析総合討論会 シンポジウム. 筑波, 2008年5月
- 127) 福田誠司, Pelus LM: Survivin は正常造血幹細胞の増殖とその遺伝子発現を制御する. 第6回幹細胞シンポジウム. 熊本, 2008年5月
- 128) 小林弘典, 虫本雄一, 山口清次, 樋口麻子, 長谷川行洋: AVPR2 遺伝子に新規ヘテロ接合性変異を同定した腎性尿崩症の女児例. 第81回日本内分泌学会学術総会. 青森, 2008年5月
- 129) 虫本雄一, 小林弘典: 頭部外傷後に発症した中枢性思春期早発症の男児例. 第81回日本内分泌学会学術総会. 青森, 2008年5月
- 130) 山口清次: タンデムマスによる新生児マススクリーニングとその意義. 第5回秋田新生児カンファレンス. 秋田, 2008年5月
- 131) 栗野宏之, 起塚 庸, 八木麻理子, 竹島泰弘, 住谷珠子, 久呉真章, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次, 松尾雅文: 新生児期に繰り返す嘔吐で発症したオルニチントランスカルバミラーゼ欠損症の一例. 第245回小児科学会兵庫県地方会. 神戸, 2008年5月
- 132) 岸 和子, 柴田直昭, 瀬島 斉, 山口清次, 江田伊勢松: 幼児期に発症した脊髄小脳失調症2型の1男児例. 第50回日本小児神経学会総会. 東京, 2008年5月
- 133) 福田誠司, 岸 和子, 吉川陽子, 雑賀玲子, 瀬島 斉, 安田謙二, 山口清次: 脳梁膨大部に可逆性病変を呈したロタウイルス関連急性脳症の2歳男児. 第89回小児科学会島根地方会. 出雲, 2008年6月
- 134) 瀬島 斉, 吉川陽子, 斎藤敦郎, 葛西武司, 内田由里, 四本由郁, 長谷川有紀, 岸 和子, 山口清次: ACTH少量週1回長期投与により発作抑制が得られているてんかん性脳症の女児例. 第89回小児科学会島根地方会. 出雲, 2008年6月
- 135) 高橋知男, 福田誠司, 葛西武司, 安田謙二, 山口清次, 久守孝司: 病初期に血管性紫斑病に伴う精巣上体炎が疑われた特発性睾丸壊死の12歳男児. 第89回小児科学会島根地方会. 出雲, 2008年6月
- 136) 瀬島 斉, 柴田直昭, 内田由里, 吉川陽子, 安田謙二, 岸 和子, 山口清次: 部分発作との鑑別に発作時脳波記録が有用だったミオクロニーてんかんの幼児例. 第22回島根てんかん研究会. 出雲, 2008年6月
- 137) 岸 和子, 瀬島 斉, 内田由里, 稲垣卓司, 和気 玲, 中村 勇, 高野由美子, 波多野玲奈, 斎藤千都香, 山口清次: 島根大学医学部附属病院子どものこころ診療部受診者状況~開設後9か月間のまとめ~. 第17回中国・四國小児保健学会. 松江, 2008年6月

- 138) 山口清次: タンデムマス・新生児スクリーニングと母子保健. 第 17 回中国・四国小児保健学会 会長講演. 松江, 2008 年 6 月
- 139) 太田桂子, 四本由郁: 新生児退院後に養育支援の必要な家族をとりまく地域医療連携について. 第 17 回中国・四国小児保健学会. 松江, 2008 年 6 月
- 140) 四本由郁, 山口清次: ハイリスク児に対する RS ウイルス予防接種(パリビズマブ(シナジス®))と定期予防接種. 第 17 回中国・四国小児保健学会. 松江, 2008 年 6 月
- 141) 秋鹿都子, 山本八千代, 宮城由美子, 竹谷 健: 食物アレルギー患児の母親の病の受容プロセス. 第 17 回中国・四国小児保健学会. 松江, 2008 年 6 月
- 142) 南 憲明, 安田謙二: 著明な肺高血圧を来した色素失調症の 2 カ月女児例. 第 44 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 福島, 2008 年 7 月
- 143) Fukuda S, Sampath J, Singh P, Pelus LM: Survivin regulates proliferation and expression of genes affecting divergent cellular functions in hematopoietic stemcells. ISEH 37th Annual Scientific Meeting. Boston, July 2008
- 144) 柴田直昭, 四本由郁, 山口清次: 先天性嚢胞性腺腫様奇形 (CCAM) の 3 例: 臨床像の多様性. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会. 横浜, 2008 年 7 月
- 145) 吉川陽子, 四本由郁, 山口清次: West 症候群・肺高血圧症を合併した重症型色素失調症の一例. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会. 横浜, 2008 年 7 月
- 146) 山口清次, 虫本雄一, 吉川陽子, 四本由郁, 小林弘典: 有機酸・脂肪酸代謝異常症の新生児期発症例の臨床所見と予後. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会. 横浜, 2008 年 7 月
- 147) 山口清次: タンデムマス導入による新生児マススクリーニングの広がり. 第 9 回愛媛周産期医療研究会 講演. 愛媛, 2008 年 7 月
- 148) 長谷川有紀: 代謝異常セカンドライン検査 (アミノ酸 / 有機酸 / アシルカルニチン分析): 検査提出時に知っておきたい 1H5W. 第 4 回日本先天代謝異常学会セミナー. 横浜, 2008 年 7 月
- 149) Yamaguchi S: Clinical and biochemical approaches to inherited metabolic diseases of organic & fatty acids. The Inborn Metabolic Error Disorder Workshop. Hanoi, August 2008
- 150) Yamaguchi S: Neonatal screening using tandem mass spectrometry & its clinical significance. The Inborn Metabolic Error Disorder Workshop. Hanoi, August 2008
- 151) Yamaguchi S: Clinical pictures of inherited metabolic diseases: Diagnosis and treatment of organic and fatty acid disorders. The Inborn Metabolic Error Disorder Workshop. Ho Chi Minh City, August 2008
- 152) Yamaguchi S: Restructuring of neonatal screening in Japan: Introducing tandem mass spectrometry for the detection of organic and fatty acid disorders. The Inborn Metabolic Error Disorder Workshop. Ho Chi Minh City, August 2008
- 153) 山口清次: 新生児マススクリーニングの新しい動き: ガスリーテストからタンデムマスの時代へ. 第 39 回岩手周産期研究会 特別講演. 盛岡, 2008 年 8 月
- 154) 長谷川有紀, 小林弘典, 虫本雄一, 山田健治, 山口清次: 有機酸・脂肪酸代謝異常症

- の自然歴について. 第 35 回日本マス・スクリーニング学会. 松江, 2008 年 8 月
- 155) 虫本雄一, 小林弘典, 李 紅, Jamiyan Purevsuren, 長谷川有紀, 山口清次: タンデムマス・スクリーニングにおける酵素評価: 末梢血リンパ球とタンデムマスを用いた脂肪酸 酸化能の試み. 第 35 回日本マス・スクリーニング学会. 松江, 2008 年 8 月
- 156) 小林弘典, 長谷川有紀, 虫本雄一, 山口清次: タンデムマススクリーニングを受けずに発症した有機酸・脂肪酸代謝異常症患者の後方視的検討. 第 35 回日本マス・スクリーニング学会. 松江, 2008 年 8 月
- 157) 坂本 修, 大浦敏博, 土屋 滋, 島田美香, 斉藤郁磨, 名古屋裕子, 一條敦子, 針生敬子, 山本俊夫, 遠藤善宏, 秋山和夫, 白石廣行, 虫本雄一, 遠藤 充, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: タンデムマス新生児スクリーニングでの C3, C3/C2 の高値例の検討. 第 35 回日本マス・スクリーニング学会. 松江, 2008 年 8 月
- 158) 山口清次: 新しい新生児マス・スクリーニングの臨床的意義. 第 35 回日本マス・スクリーニング学会・第 30 回技術部会 教育講演. 松江, 2008 年 8 月
- 159) Yamaguchi S: Newborn screening in Japan: introduction of tandem mass spectrometry and diagnostic supports. 2008 SCL International Symposium. Seoul, September 2008
- 160) 遠藤 充, 中島滋紀, 高橋知男, 齋藤恭子, 瀬島 斉, 竹谷 健, 虫本雄一, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: 厳格な食事制限のため湿疹の憎悪をきたしたビオチン欠乏症の乳児例. 島根小児科医会 平成 20 年度 第 2 回学術講演会. 出雲, 2008 年 9 月
- 161) 小林弘典, 長谷川有紀, 安田謙二, 山口清次, 久守孝司, 折出亜紀, 金崎春彦, 太田桂子, 寺本多恵, 板倉千栄: 無月経を契機に診断された完全型アンドロゲン受容体不応症の 15 歳社会的児に対するチーム医療としての関わり. 第 82 回山陰小児科学会. 米子, 2008 年 9 月
- 162) 齋藤恭子, 高橋知男, 中嶋滋記, 遠藤 充, 瀬島 斉, 竹谷 健, 久守孝司, 田井道夫, 千貫大介: 年長児に発症した胃軸捻転の 2 例. 第 82 回山陰小児科学会. 米子, 2008 年 9 月
- 163) 吾郷真子, 安田謙二, 山口清次, 竹谷 健, 木村正彦: 麻痺性イレウスを呈した驚愕病の一例. 第 82 回山陰小児科学会. 米子, 2008 年 9 月
- 164) 虫本雄一, 長谷川有紀, 遠藤 充, 小林弘典, 李 紅, Purevsuren J, 山口清次: 培養細胞とダンデムマスによる有機酸代謝異常症の酵素評価の試み. 第 33 回日本医用マススペクトル学会年会. 東京, 2008 年 9 月
- 165) 青井典明, 片岡真吾, 木村光宏, 竹谷 健, 山口清次, 川内秀之: 上顎洞原発小児横紋筋肉腫の 1 例. 第 47 回日本鼻科学会. 名古屋, 2008 年 9 月
- 166) 束本和紀, 小林弘典, 安田謙二, 金井理恵, 山口清次: 中枢性尿崩症を合併したジャーミノーマに対する化学療法大量輸液時のバゾプレシン持続静注の試み. 第 9 回山陰内分泌研究会. 米子, 2008 年 9 月
- 167) 大串 始, 田所美香, 勝部好裕, 小田泰昭, 服部耕治, 金井理恵, 竹谷 健, 山口清次, 内尾祐司: 周産期型低ホスファターゼ症に対して同種間葉系細胞と培養骨移植を併用した一症例. 第 27 回日本運動器移植・再生医学研究会. 岐阜, 2008 年 9 月
- 168) 虫本雄一, 小林弘典, 樋口 強, 安田謙二, 山口清次: 低身長を契機に発見された萎

- 縮性甲状腺炎の1例. 第42回日本小児内分泌学会学術集会. 米子, 2008年10月
- 169) 竹谷 健, 金井理恵, 小林弘典, 山口清次, 内尾祐司, 大串 始: 周産期型低ホスファターゼ症に対して間葉系細胞輸中と骨髓移植治療を併用した4歳女児例の臨床経過. 第42回日本小児内分泌学会学術集会. 米子, 2008年10月
- 170) 安部真理子, 竹谷 健, 安田謙二, 蓼沼 拓, 酒井康生, 馬庭壯吉, 山口清次: 持続する喘鳴, 反復性肺炎に対して嚥下造影を行った小児7例の検討. 第41回日本小児呼吸器疾患学会. 函館, 2008年10月
- 171) 竹谷 健: 食物アレルギーの現状と課題. 出雲小児科医会, 出雲, 2008年10月
- 172) 東本和紀, 小林弘典, 安田謙二, 金井理恵, 山口清次: 中枢性尿崩症を合併した鞍上部腫瘍への化学療法 大量輸液時における水・電解質管理～バゾプレシン持続静注の試み～. 第60回中国四国小児科学会. 愛媛, 2008年10月
- 173) 平出智裕, 竹谷 健, 内田由里, 安田謙二, 瀬島 斉, 柴田直昭, 堀 大介, 山口清次: 異なる原因で発症して良好な経過をとった小児 Longitudinal segment myelitis の2例. 第60回中国四国小児科学会. 愛媛, 2008年10月
- 174) 竹谷 健, 金井理恵, 小林弘典, 伊藤貴美子, 山口清次, 内尾祐司, 大串 始: 周産期型低ホスファターゼ症の1例: 間葉系幹細胞移植および培養骨移植を併用した同種骨髓移植で生存している症例. 第53回日本未熟児新生児学会. 札幌, 2008年10月
- 175) 岡野善行, 大浦敏博, 杉山成司, 田中葉子, 荘司 裕, 野口篤子, 藤脇建久, 小林弘典, 青木菊麿: フェニルケトン尿症におけるビオプテリン療法の長期治療経過と in vivo フェニルアラニン水酸化酵素活性の関係. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 176) 後藤珠子, 山形嵩倫, 伊藤千春, 武藤重明, 草野英二, 松原大祐, 長谷川有紀, 山口清次, 杉江秀夫, 桃井真里子: 成人したメチルマロン酸血症の剖検例. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 177) Nguyen TH, Vu CD, Nguyen NK, Bui PT, Can TBN, Nguyen VT, Nguyen TN, Hasegawa Y, Kobayasi H, Yamaguti S, Nguyen TL: Clinical presentation and treatment results of patients with inborn errors of metabolism disorders in Vietnam. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 178) 但馬 剛, 白尾謙一郎, 佐倉伸夫, 畑 郁江, 重松陽介, 長谷川有紀, 木村正彦, 山口清次: 本邦初例と思われるエチルマロン酸脳症 (ethylmalonic encephalopathy) の1例. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 179) 李 紅, 遠藤 充, 長谷川有紀, 小林弘典, 福田誠司, 山口清次: Study of the effect of heat stress on fatty acid oxidation disorder using an in vitro assay. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 180) 虫本雄一, 長谷川有紀, 小林弘典, 山口清次: 綿維芽細胞とダンデムマスを用いたグルタル酸血症1型の酸素活性評価. 第50回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008年11月
- 181) プレブスレン ジャミヤン, 深尾敏幸, 長谷川有紀, 小林弘典, 福田誠司, 山口清次: Clinical and molecular investigations of 5 Japanese patients with MTP deficiency. 第50回

- 日本先天代謝異常学会. 米子, 2008 年 11 月
- 182) 久保寺訓子, 内山 温, 山本 裕, 長澤宏幸, 河野芳功, 深尾敏幸, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次, 安野哲彦: 新生児期発症のカルニチン / アシルカルニチントランスポーター欠損症の 1 例. 第 50 回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008 年 11 月
- 183) 堀 友博, 深尾敏幸, 小林弘典, 寺本貴英, 高柳正樹, 遠藤 充, 長谷川有紀, 安野哲彦, 山口清次, 近藤直実: CPT2 欠損症の初期カルニチン治療における血中および尿中アシルカルニチンの推移の検討. 第 50 回日本先天代謝異常学会. 米子, 2008 年 11 月
- 184) 竹谷 健, 金井理恵, 内田由里, 安田謙二, 山口清次: リネゾリドによる赤芽球癆の 1 幼児例. 第 50 回日本小児血液学会. 千葉, 2008 年 11 月
- 185) 金井理恵: 慢性 ITP の経過中に診断された MYH9 遺伝子変異を認めた Epstein 症候群の 1 例. 第 50 回日本小児血液学会 第 24 回日本小児がん学会. 千葉, 2008 年 11 月
- 186) 日下あかり, 竹谷 健, 安田謙二, 金井理恵, 久守孝司, 山口清次: 乳児期早期に発症した頸部化膿性リンパ節炎の 3 例. 第 40 回日本小児感染症学会. 名古屋, 2008 年 11 月
- 187) 小林弘典: 気になる, 子どもの食事・栄養 ~ 小児科医から見た食育, 子どものすこやかな成長のために ~. 第 2 回出雲子ども健康フォーラム 講演. 出雲, 2008 年 11 月
- 188) 竹谷 健: 小児感染症のピットフォールと最近の話題. 第 416 回鳥取県東部小児科医会例会 特別講演. 鳥取, 2008 年 11 月
- 189) 山口清次: 質量分析の臨床応用 ~ 特に小児代謝異常疾患への応用 ~. 麻布大学大学院セミナー. 東京, 2009 年 11 月
- 190) 平出智裕: マクロライド耐性と考えられたマイコプラズマ肺炎の一例. 第 5 回出雲小児感染症カンファレンス. 出雲, 2008 年 11 月
- 191) 内田由里: インフルエンザ脳症における先天代謝異常症の関連. 第 5 回出雲小児感染症カンファレンス. 出雲, 2008 年 11 月
- 192) 吾郷真子, 竹谷 健, 内田由里, 金井理恵, 山口清次, 三島清司, 陶山多美子, 兒玉るみ, 吉野 功, 國司博行, 柳楽 楨: Leukapheresis により TLS を回避して寛解に入った Neurofibromatosis 合併急性リンパ性白血病の 1 例. 第 37 回鳥根造血器腫瘍研究会. 出雲, 2008 年 11 月
- 193) 竹谷 健: こどもの血液疾患. 平成 20 年度鳥根県臨床技師会血液研修会. 出雲, 2008 年 11 月
- 194) 和田啓介, 福田誠司, 安田謙二, 小林弘典, 山口清次, 岩佐潤二, 内尾祐司: 外傷を契機に発症した骨盤白蓋部急性骨髄炎の 11 歳男児. 第 90 回小児科学会鳥根地方会. 出雲, 2008 年 12 月
- 195) 束本和紀, 岸 和子, 福田誠司, 和田啓介, 安田謙二, 小林弘典, 山口清次, 渡辺 浩: メチルプレドニゾロンパルス療法が奏効した急性小脳失調症の 2 歳女児. 第 90 回小児科学会鳥根地方会. 出雲, 2008 年 12 月
- 196) 虫本雄一, 竹谷 健, 小林弘典, 長谷川有紀, 山口清次: アレルギー用特殊ミルクのビオチン欠乏による難治性湿疹 8 例の検討. 第 45 回日本小児アレルギー学会. 横浜,

2008年12月

- 197) Taketani T, Taki T, Fukuda S, Yamaguchi S, Hayashi Y: Correlation of FLT3-ITD and KIT mutations with clinical features in myeloid malignancies with NUP98-HOX fusion genes. 50th American Society of Hematology. San Francisco, USA, December 2008
- 198) 竹谷 健: こどものアレルギーと楽しく笑顔で付き合おう。平成 20 年度島根県少子化対策民間活動助成事業。松江, 2008 年 12 月